

平成21年（1月～12月）における火災の概要

総務省消防庁

前年同期と比較すると、総出火件数、建物火災、車両火災の出火件数は減少していますが、林野火災、船舶火災、その他火災の出火件数は、増加しています。

また、火災による死者数は、減少しています。

① 総出火件数は、51,124 件、前年同期比1,270 件の減少

総出火件数は、51,124 件で、前年同期より1,270 件（2.4%）減少しています。火災種別ごとにみると、建物火災が1,703 件減少、車両火災が33 件減少、林野火災が191 件増加、船舶火災が8 件増加、その他火災が266 件増加しています。

② 総死者数は、1,877 人、前年同期比92 人の減少

火災による総死者数は、1,877 人で、前年同期より92 人（4.7%）減少しています。負傷者は7,615 人で前年同期より383 人（4.8%）減少しています。

③ 住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数は、1,025 人、前年同期より98 人減少

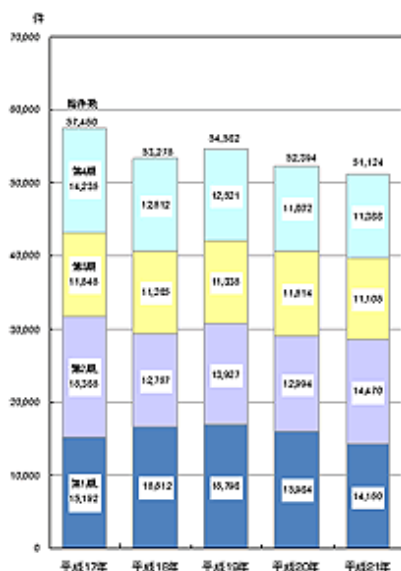
住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数は、1,025 人で、前年同期より98 人（8.7%）減少しています。このうち65 歳以上の高齢者は628 人で、前年同期より82 人（11.5%）減少していますが、住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数の61.3%を占めています。

④ 出火原因の第1位は、「放火」、第2位は、「こんろ」

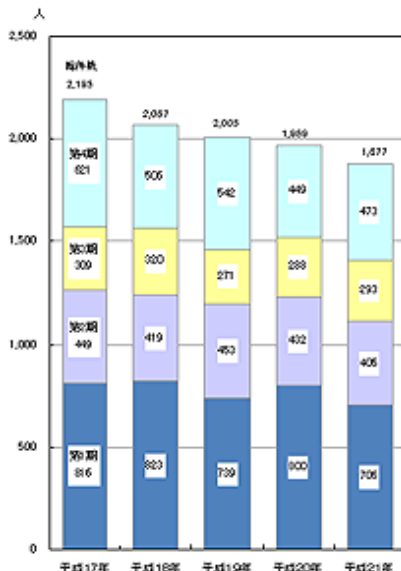
総出火件数51,124 件を出火原因別にみると、「放火」が6,534件（12.8%）、「こんろ」が5,128 件（10.0%）、「たばこ」が4,987 件（9.8%）、「放火の疑い」が4,617 件（9.0%）、「たき火」が3,023 件（5.9%）となっています。

また、「放火」及び「放火の疑い」を合わせると11,151 件（21.8%）となっています。

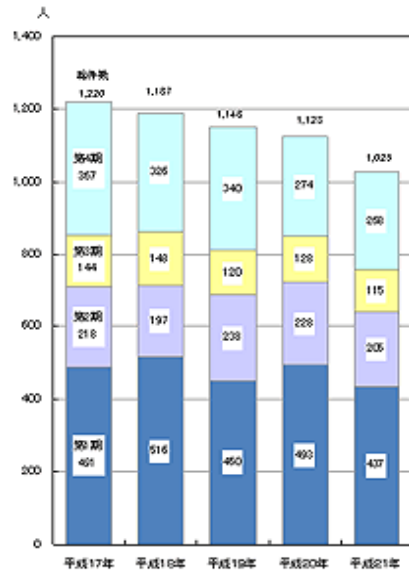
過去5年間の火災の推移



過去5年間の死者の推移

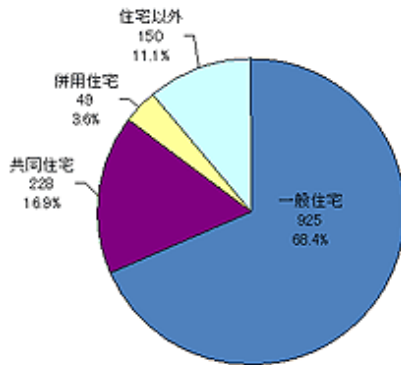


過去5年間の住宅火災における死者の推移
(放火自殺者等を除く)

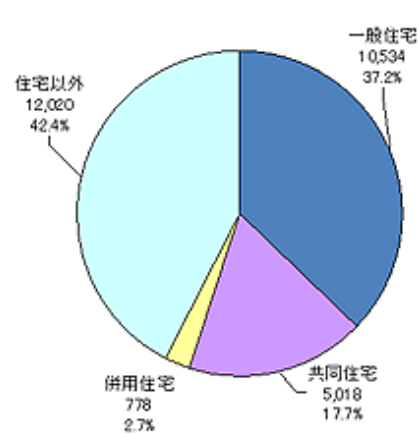


※第1期（1月～3月）、第2期（4月～6月）、第3期（7月～9月）、第4期（10月～12月）

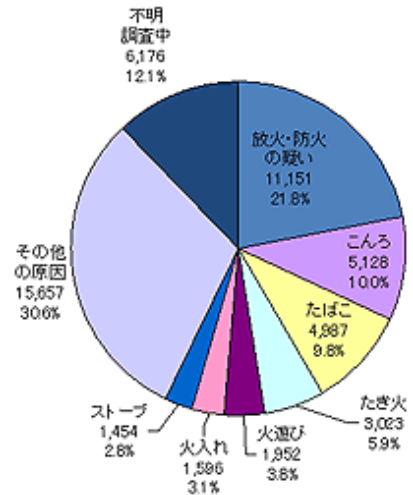
建物火災の死者1,352人の内訳
※死者の発生した建物用途による



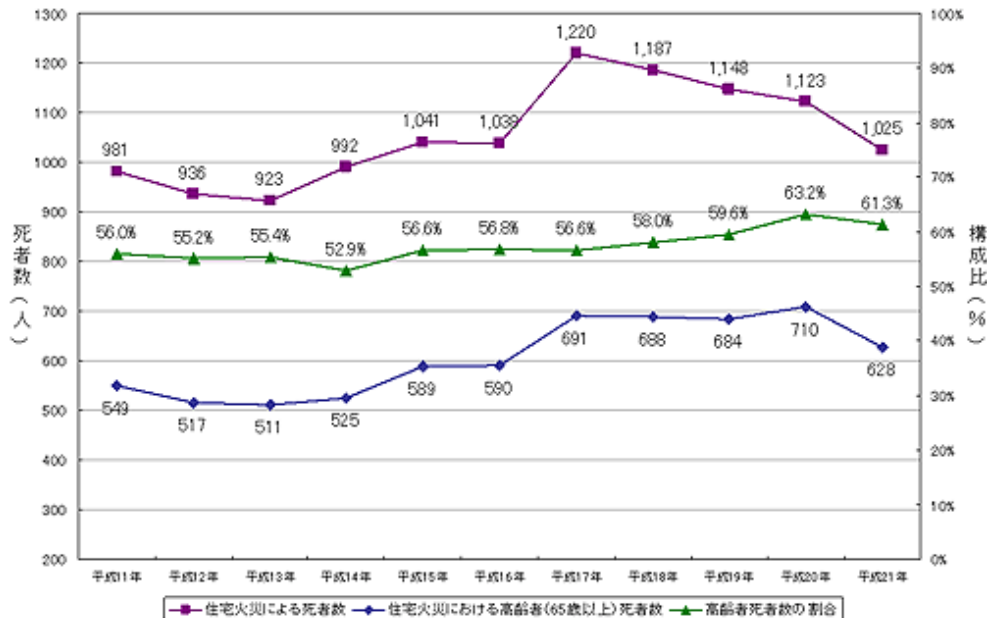
建物火災の出火件数28,350件の内訳



出火原因の内訳51,124件の内訳



住宅火災における死者数の推移（放火自殺者等を除く）



▲ [このページの上に戻る](#)

目次

- 1.平成21年（1月～12月）における火災の概要 – 総務省消防庁
- 2.住宅用火災警報器の奏功事例（平成21年7月～平成22年2月） – 総務省消防庁
- 3.「少年消防クラブの充実方策に関する検討会報告書」の概要
- 4.2010年度 全国統一防火標語決定！
- 5.【地方からの便り】大阪府防火クラブ大会の開催
- 6.危険物取扱者試験、消防設備士試験実施のお知らせ
- 7.【日本防火協会】市町村婦防クラブ幹部研修会開催ほか